# 長崎大学病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2023年 8月 22日 (火) 16:00~17:03
場所	多目的研修室
出席委員名	永田委員長、尾長谷委員、河野委員、田中委員、住田委員、黒田委員、永岡委員、今井委員、田頭委員、 上島委員、大山委員、出口委員

<sup>\*</sup> 審議対象治験に関与する委員は審議及び採決には参加していない

#### 審議事項:新規申請

	・治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	概要	審議結果
1		協和キリン株式会社(治験国内管理人)の依頼による成人及 び青少年アトピー性皮膚炎患者を対象としたAMG451の第III相 試験	治験実施の妥当性について審議	承認
2	ヤンセンファーマ株式会社	カルメット・ゲラン桿菌 (BCG) 未治療の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌 (HR-NMIBC) 患者を対象に, TAR-200 とcetrelimabの併用投与又はTAR-200 単独投与と, BCG 膀胱内投与の有効性及び安全性を比較する, 第3相非盲検多施設共同ランダム化試験	治験実施の妥当性について審議	修正の上で 承認

### 審議事項: 重篤な有害事象報告

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
3	ヤンセンファーマ株式会社	中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第Ⅱ/Ⅲ相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
4	パレクセル・インターナ ショナル株式会社	治験国内管理人パレクセル・インターナショナル株式会社の 依頼によるREGN2810の第1相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
5	Fortrea Japan株式会社	Fortrea Japan株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリムマブ及びenfortumab vedotinの第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
6	Fortrea Japan株式会社	Fortrea Japan株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリムマブ及びenfortumab vedotinの第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認

#### 審議事項: 重篤な有害事象報告

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
7	Fortrea Japan株式会社	Fortrea Japan株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリムマブ及びenfortumab vedotinの第Ⅲ相試験	第二報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
8	Fortrea Japan株式会社	Fortrea Japan株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリムマブ及びenfortumab vedotinの第Ⅲ相試験	第一報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
9	Chordia Therapeutics株式 会社	Chordia Therapeutics社の依頼による第Ⅰ相臨床試験	第一報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
10	Chordia Therapeutics株式 会社	Chordia Therapeutics社の依頼による第Ⅰ相臨床試験	第二報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
11	住友ファーマ株式会社	住友ファーマ株式会社の依頼による急性白血病を対象とした DSP-5336の第1/2相試験	第三報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
12	住友ファーマ株式会社	住友ファーマ株式会社の依頼による急性白血病を対象とした DSP-5336の第1/2相試験	第一報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
13	住友ファーマ株式会社	住友ファーマ株式会社の依頼による急性白血病を対象とした DSP-5336の第1/2相試験	第二報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
14	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	Altos Biologics Inc.から依頼の第3相試験(ALTERA)	第一報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
15	ギリアド・サイエンシズ株 式会社	ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による急性骨髄性白 血病患者を対象としたMagrolimabの第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
当日1	住友ファーマ株式会社	住友ファーマ株式会社の依頼による急性白血病を対象とした DSP-5336の第1/2相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
当日2	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	Altos Biologics Inc.から依頼の第3相試験(ALTERA)	第二報	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
16	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	腎細胞がん患者を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第Ⅲ相 試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
17	MSD株式会社	MSD株式会社の依頼による去勢抵抗性前立腺癌を対象とした MK-7339の第Ⅲ相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
18	MSD株式会社	MSD株式会社の依頼による去勢抵抗性前立腺癌を対象とした MK-3475の第Ⅲ相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
19	MSD株式会社	MSD株式会社の依頼による去勢抵抗性前立腺癌を対象とした MK-3475の第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
19	MSD株式会社	MSD株式会社の依頼による去勢抵抗性前立腺癌を対象とした MK-3475の第Ⅲ相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
20	アストラゼネカ株式会社	アストラゼネカ株式会社の依頼による肝細胞癌患者を対象と したDurvalumabの第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
21	MSD株式会社	MSD株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
22	中外製薬株式会社	中外製薬株式会社の依頼による補体阻害剤による治療歴のある発作性夜間ヘモグロビン尿症患者を対象としたR07112689 (クロバリマブ)の第III相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
23	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	肺線維症患者を対象としたBMS-986278の第Ⅱ相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更		承認
24	ヤンセンファーマ株式会社	治療抵抗性の肺Mycobacterium avium complex (MAC) 症成人 患者を対象にクラリスロマイシン及びエタンブトールを用い た治療レジメンの一剤としてベダキリンを投与したときの有 効性及び安全性を評価する第2/3相、多施設共同、ランダム 化、非盲検、実薬対照試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
25	ヤンセンファーマ株式会社	膀胱全摘除術に不適格である、又は膀胱全摘除術を選択しなかった、カルメット・ゲラン桿菌(BCG)膀胱内注入療法に不応性の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌(NMIBC)患者を対象として、TAR-200とCetrelimabの併用、TAR-200単独、又はCetrelimab単独の有効性及び安全性を評価する第2b相臨床試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
26	ヤンセンファーマ株式会社	膀胱全摘除術を受けていない筋層浸潤性膀胱尿路上皮癌 (MIBC) 患者を対象として、TAR-200とCetrelimabを併用した ときの有効性を同時化学放射線療法と比較する第3相、多施設 共同、ランダム化試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
26	ヤンセンファーマ株式会社	膀胱全摘除術を受けていない筋層浸潤性膀胱尿路上皮癌 (MIBC) 患者を対象として、TAR-200とCetrelimabを併用した ときの有効性を同時化学放射線療法と比較する第3相、多施設 共同、ランダム化試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
27	アストラゼネカ株式会社	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者を対象とした第Ⅲ相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
28	ユーシービージャパン株式 会社	全身型重症筋無力症患者を対象としたROZANOLIXIZUMABを評価 する非盲検継続試験	実施計画書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
28	ユーシービージャパン株式 会社	全身型重症筋無力症患者を対象としたROZANOLIXIZUMABを評価 する非盲検継続試験	その他 (補償制度の概要)	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
29	MSD株式会社	シスプラチン適応の筋層浸潤性膀胱癌 (MIBC) 患者を対象とした周術期のEV+ペムブロリズマブと術前補助化学療法の比較	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
29	MSD株式会社	シスプラチン適応の筋層浸潤性膀胱癌 (MIBC) 患者を対象とした周術期のEV+ペムブロリズマブと術前補助化学療法の比較		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
30	ノバルティス ファーマ株式 会社	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による骨髄異形成症候 群の患者を対象としたエルトロンボパグの第Ⅱ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
31	大鵬薬品工業株式会社	大鵬薬品工業株式会社の依頼によるTAS-115 (pamufetinib) の第Ⅱ相用量反応試験	実施計画書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
31	大鵬薬品工業株式会社	大鵬薬品工業株式会社の依頼によるTAS-115 (pamufetinib) の第Ⅱ相用量反応試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
31	大鵬薬品工業株式会社	大鵬薬品工業株式会社の依頼によるTAS-115 (pamufetinib) の第Ⅱ相用量反応試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
32	アストラゼネカ株式会社	アストラゼネカ株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス (SLE) を有する患者を対象としたアニフロルマブ皮下投与の第Ⅲ相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
33	バイオジェン・ジャパン株 式会社	バイオジェン・ジャパン株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象としたBIIB059の第Ⅲ相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
34	アムジェン株式会社	アムジェン株式会社の依頼による急性リンパ性白血病患者を 対象としたブリナツモマブの第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
34	アムジェン株式会社	アムジェン株式会社の依頼による急性リンパ性白血病患者を 対象としたブリナツモマブの第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
35	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	好酸球性胃腸炎患者を対象としたCC-93538の第3相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
36	アストラゼネカ株式会社	アストラゼネカ株式会社の依頼による活動性を示す増殖性 ループス腎炎を有する成人患者を対象としたアニフロルマブ の第3相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
37	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	Altos Biologics Inc.から依頼の第3相試験(ALTERA)		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
38	ファイザー株式会社	レナリドミドおよびプロテアソーム阻害薬を含む1ライン以上の前治療歴を有する再発/難治性多発性骨髄腫患者を対象としたエルラナタマブ (PF-06863135) 単剤投与およびエルラナタマブとダラツムマブ併用投与の有効性および安全性をダラツムマブ、ポマリドミドおよびデキサメタゾン併用投与と比較する非盲検、3群、多施設共同、無作為化、第3相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
39	インスメッド合同会社	インスメッド合同会社の依頼による肺動脈性肺高血圧症患者 を対象としたトレプロスチニルパルミチル吸入粉末剤の第2b 相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
39	インスメッド合同会社	インスメッド合同会社の依頼による肺動脈性肺高血圧症患者 を対象としたトレプロスチニルパルミチル吸入粉末剤の第2b 相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
40	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	(治験国内管理人)サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会 社の依頼によるIgA腎症の治療におけるsibeprenlimabの第Ⅲ 相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
40	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	(治験国内管理人)サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会 社の依頼によるIgA腎症の治療におけるsibeprenlimabの第Ⅲ 相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
41	Worldwide Clincial Trials Japan 株式会社	C3腎症または免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎の患者を対象とした、Pegcetacoplanの有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同試験	実施計画書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
41	Worldwide Clincial Trials Japan 株式会社	C3腎症または免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎の患者を対象とした、Pegcetacoplanの有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同試験	同意説明文書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
41	Worldwide Clincial Trials Japan 株式会社	C3腎症または免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎の患者を対象とした、Pegcetacoplanの有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同試験	その他(添付文書)	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
42	ノボ ノルディスク ファー マ株式会社	トランスサイレチン型心アミロイドーシス (ATTR CM) 患者を対象とした2用量のNNC6019-0001の有効性及び安全性の検討	実施計画書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
43	興和デンタルヘルス株式会 社	KDH-136 第 I 相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
43	興和デンタルヘルス株式会 社	KDH-136 第Ⅰ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
43	興和デンタルヘルス株式会 社	KDH-136 第 I 相試験	その他 (治験参加カード、被験者へ の支払いに関する資料)	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
43	興和デンタルヘルス株式会 社	KDH-136 第Ⅰ相試験	1-485-4971// 1-241-0 - 70-70-70-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
44	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者を対象としたBI 1015550の第Ⅲ相試験	実施計画書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
44	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者を対象としたBI 1015550の第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
44	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者を対象としたBI 1015550の第Ⅲ相試験	その他(質問票)	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
45	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による進行 性線維化を伴う間質性肺疾患を対象としたBI 1015550の第Ⅲ 相試験	実施計画書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
45	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による進行 性線維化を伴う間質性肺疾患を対象としたBI 1015550の第Ⅲ 相試験	同意説明文書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
45	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による進行性線維化を伴う間質性肺疾患を対象としたBI 1015550の第Ⅲ 相試験	その他(質問票)	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
46	MSD株式会社	シスプラチン不適応又はシスプラチンを拒否した筋層浸潤性膀胱癌 (MIBC)患者を対象に周術期のペムブロリズマブ又はエンホルツマブ ベドチン (EV) とペムブロリズマブの併用療法を検討する第Ⅲ相試験	治験薬概要書又は治験使用薬に係る 最新の科学的知見を記載した文書に 関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
47	消化器内科 教授 中尾一彦	中間期肝細胞癌を対象に、アテゾリズマブ+ベバシズマブと 肝動脈化学塞栓療法(TACE)を比較する第Ⅲb相、ランダム 化、多施設共同、非盲検試験-ABC-HCC試験	実施計画書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
47	消化器内科 教授 中尾一彦	中間期肝細胞癌を対象に、アテゾリズマブ+ベバシズマブと 肝動脈化学塞栓療法(TACE)を比較する第IIIb相、ランダム 化、多施設共同、非盲検試験-ABC-HCC試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
48	消化器内科 教授 中尾一彦	中間期肝細胞癌を対象に、アテゾリズマブ+ベバシズマブと 肝動脈化学塞栓療法(TACE)を比較する第Ⅲb相、ランダム 化、多施設共同、非盲検試験-ABC-HCC試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
49	心臓血管外科 教授 三浦 崇	生体弁置換術後の抗凝固療法における直接経口抗凝固剤エド キサバンの試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
50	移植・消化器外科 助教 小林慎一朗	MAGE A4陽性かつHLA-A*02:01陽性の切除不能進行・再発を有する固形がん患者を対象にMU-MA402Cの安全性及び忍容性を検討することを目的とした多施設共同第 I 相試験	実施計画書に関する変更	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
50	移他 • 得化奋外科   助数 小林慎一朗	MAGE A4陽性かつHLA-A*02:01陽性の切除不能進行・再発を有する固形がん患者を対象にMU-MA402Cの安全性及び忍容性を検討することを目的とした多施設共同第Ⅰ相試験	その他 (モニタリングに関する手順 書)	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
当日3	協和キリン株式会社	健康成人並びに全身性エリテマトーデス患者及び皮膚エリテマトーデス患者を対象としたKK4277の第 I 相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
51	日本イーライリリー株式会 社	肺癌患者を対象としたLY3009806(一般名:Ramucirumab)の 第Ⅰb/第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
52	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	腎細胞がん患者を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第Ⅲ相 試験	[ 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
53	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	腎細胞がん患者を対象としたBMS-936558/BMS-734016の第Ⅲ相 試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
54	エーザイ株式会社	腎細胞癌を対象としたE7080、MK-3475の第3相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
55	アッヴィ合同会社	中等度から重度の慢性局面型乾癬に対する維持投与における risankizumabの安全性及び有効性を評価する多施設共同、非 盲検試験(LIMMITLESS試験)	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
56	ヤンセンファーマ株式会社	中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第Ⅱ/Ⅲ相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
57	ヤンセンファーマ株式会社	中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第Ⅱ/Ⅲ相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
58	パレクセル・インターナ ショナル株式会社	治験国内管理人パレクセル・インターナショナル株式会社の 依頼によるREGN2810の第1相試験	個別症例報告、その他(個別報告共 通サマリーテーブル、未知・重篤副 作用症例の発現状況一覧)	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
59	パレクセル・インターナ ショナル株式会社	治験国内管理人パレクセル・インターナショナル株式会社の 依頼によるREGN2810の第1相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
60	MSD株式会社	MSD株式会社の依頼による去勢抵抗性前立腺癌を対象とした MK-3475の第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
61	アッヴィ合同会社	A phase 3, Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Upadacitinib in Subjects with Takayasu Arteritis (SELECT-Takayasu) 高安動脈炎患者を対象としてウパダシチニブの有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験 (SELECT-Takayasu)		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
62	アッヴィ合同会社	体軸性脊椎関節炎の成人患者におけるウパダシチニブの有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相無作為化プラセボ対照二重盲検試験 A Phase 3 Randomized, Placebo-Controlled, Double-Blind Program to Evaluate Efficacy and Safety of Upadacitinib in Adult Subjects with Axial Spondyloarthritis	1 (15) (5) (3) (4) (1) (4) (1) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
63	株式会社ミノファーゲン製 薬	ATL患者を対象としたBSC-1第Ⅱ相臨床試験の継続試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
64	エイツーヘルスケア株式会 社	エイツーヘルスケア株式会社(国内管理人)の依頼による全身型重症筋無力症患者を対象としたzilucoplanの第Ⅲ相試験 (継続試験)		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
65	MSD株式会社	MSD株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験	TAIRLE LA 1/4 AVII AVII AVII AUT 1/4 AVII	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
66	MSD株式会社	MSD株式会社の依頼による筋層浸潤性膀胱癌を対象としたMK-3475の第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
67	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象としたニボルマブ又は プラセボとドセタキセルの併用療法の第Ⅲ相試験	1/1141 12 11 3 1 1 1/1/11 12 16 <del>1 1 1</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
68	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	転移性去勢抵抗性前立腺癌患者を対象としたニボルマブ又は プラセボとドセタキセルの併用療法の第Ⅲ相試験	個別症例報告、措置報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
69	バイエル薬品株式会社	バイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対 象とした高用量アフリベルセプトの第Ⅱ/Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
70	バイエル薬品株式会社	バイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対 象とした高用量アフリベルセプトの第Ⅱ/Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
71	中外製薬株式会社	中外製薬株式会社の依頼による補体阻害剤による治療歴のある発作性夜間ヘモグロビン尿症患者を対象としたR07112689 (クロバリマブ)の第III相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
72	中外製薬株式会社	中外製薬株式会社の依頼による補体阻害剤による治療歴のある発作性夜間ヘモグロビン尿症患者を対象としたR07112689 (クロバリマブ)の第III相試験	1/100 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
73	アッヴィ合同会社	アッヴィ合同会社の依頼による骨髄異形成症候群を対象としたベネトクラクスの第Ⅲ相試験	1 4 古 名 1 3 元 <i>4 4</i> 1 五 6 <del>2</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
74	大塚製薬株式会社	大塚製薬株式会社の依頼によるASTX030の第 I 相試験	1.41年1.1月17年1747月174日 <del>三子</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
75	大塚製薬株式会社	大塚製薬株式会社の依頼によるASTX030の第 I 相試験	1/1141 12 11 3 1 1 1/1/11 12 16 <del>1 1 1</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
76	ヤンセンファーマ株式会社	治療抵抗性の肺Mycobacterium avium complex (MAC) 症成人 患者を対象にクラリスロマイシン及びエタンブトールを用い た治療レジメンの一剤としてベダキリンを投与したときの有 効性及び安全性を評価する第2/3相、多施設共同、ランダム 化、非盲検、実薬対照試験	1/1141 12 11 3 1 1 1/1/11 12 16 <del>1 1 1</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
77	ヤンセンファーマ株式会社	治療抵抗性の肺Mycobacterium avium complex (MAC) 症成人 患者を対象にクラリスロマイシン及びエタンブトールを用い た治療レジメンの一剤としてベダキリンを投与したときの有 効性及び安全性を評価する第2/3相、多施設共同、ランダム 化、非盲検、実薬対照試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
78	ヤンセンファーマ株式会社	膀胱全摘除術に不適格である、又は膀胱全摘除術を選択しなかった、カルメット・ゲラン桿菌(BCG)膀胱内注入療法に不応性の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌(NMIBC)患者を対象として、TAR-200とCetrelimabの併用、TAR-200単独、又はCetrelimab単独の有効性及び安全性を評価する第2b相臨床試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
79	ヤンセンファーマ株式会社	膀胱全摘除術に不適格である、又は膀胱全摘除術を選択しなかった、カルメット・ゲラン桿菌(BCG)膀胱内注入療法に不応性の高リスク筋層非浸潤性膀胱癌(NMIBC)患者を対象として、TAR-200とCetrelimabの併用、TAR-200単独、又はCetrelimab単独の有効性及び安全性を評価する第2b相臨床試験	1/16/16/14/14/14/14/14/ <del>14/1</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
80	ヤンセンファーマ株式会社	膀胱全摘除術を受けていない筋層浸潤性膀胱尿路上皮癌 (MIBC) 患者を対象として、TAR-200とCetrelimabを併用した ときの有効性を同時化学放射線療法と比較する第3相、多施設 共同、ランダム化試験	[ 4] B. P. H. J. J. J. J. J. J. B. H.	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
81	ヤンセンファーマ株式会社	膀胱全摘除術を受けていない筋層浸潤性膀胱尿路上皮癌 (MIBC) 患者を対象として、TAR-200とCetrelimabを併用した ときの有効性を同時化学放射線療法と比較する第3相、多施設 共同、ランダム化試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
82	ユーシービージャパン株式 会社	全身型重症筋無力症患者を対象としたROZANOLIXIZUMABを評価 する非盲検継続試験	1/16/16/14/14/14/14/14/ <del>14/1</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
83	ユーシービージャパン株式 会社	全身型重症筋無力症患者を対象としたROZANOLIXIZUMABを評価 する非盲検継続試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
84	MSD株式会社	シスプラチン適応の筋層浸潤性膀胱癌 (MIBC) 患者を対象と した周術期のEV+ペムブロリズマブと術前補助化学療法の比 較		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
85	ヤンセンファーマ株式会社	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による肺動脈性肺高血圧症 を対象としたJNJ-67896062の第Ⅲ相臨床試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
86	ヤンセンファーマ株式会社	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による肺動脈性肺高血圧症 を対象としたJNJ-67896062の第Ⅲ相臨床試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
87	ノバルティス ファーマ株式 会社	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による骨髄異形成症候 群の患者を対象としたエルトロンボパグの第Ⅱ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
88	小野薬品工業株式会社	小野薬品工業株式会社の依頼による第Ⅰ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
89	大鵬薬品工業株式会社	大鵬薬品工業株式会社の依頼によるTAS-115 (pamufetinib) の第Ⅱ相用量反応試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
90	Fortrea Japan株式会社	Fortrea Japan株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリムマブ及びenfortumab vedotinの第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
91	Fortrea Japan株式会社	Fortrea Japan株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリムマブ及びenfortumab vedotinの第Ⅲ相試験	個別症例報告、年次報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
92	アストラゼネカ株式会社	アストラゼネカ株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス (SLE) を有する患者を対象としたアニフロルマブ皮下投与の第Ⅲ相試験	1 (15) (5) (3) (4) (1) (4) (1) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
93	アムジェン株式会社	アムジェン株式会社の依頼による急性リンパ性白血病患者を 対象としたブリナツモマブの第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
94	アムジェン株式会社	アムジェン株式会社の依頼による急性リンパ性白血病患者を 対象としたブリナツモマブの第Ⅲ相試験	個別症例報告、措置報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
95	ヤンセンファーマ株式会社	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による一次性シェーグレン 症候群 (pSS) 成人患者を対象としたNipocalimabの第Ⅱ相試 験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
96	ヤンセンファーマ株式会社	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による一次性シェーグレン 症候群 (pSS) 成人患者を対象としたNipocalimabの第Ⅱ相試 験	個別症例報告、年次報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
97	中外製薬株式会社	中外製薬株式会社の依頼による活動性ループス腎炎患者を対象としたR05072759の第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
98	ダイドーファーマ株式会社	LEMS患者を対象としたDYD-301錠の長期投与試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
99	アストラゼネカ株式会社	アストラゼネカ株式会社の依頼による活動性を示す増殖性 ループス腎炎を有する成人患者を対象としたアニフロルマブ の第3相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
100	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	Altos Biologics Inc.から依頼の第3相試験(ALTERA)	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
101	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	Altos Biologics Inc.から依頼の第3相試験(ALTERA)	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
102	大鵬薬品工業株式会社	大鵬薬品工業株式会社の依頼による第Ⅰ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
103	株式会社新日本科学PPD	びまん性皮膚硬化型全身性強皮症患者を対象としたHZN-825と プラセボとの比較	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
104	ファイザー株式会社	レナリドミドおよびプロテアソーム阻害薬を含む1ライン以上の前治療歴を有する再発/難治性多発性骨髄腫患者を対象としたエルラナタマブ (PF-06863135) 単剤投与およびエルラナタマブとダラツムマブ併用投与の有効性および安全性をダラツムマブ、ポマリドミドおよびデキサメタゾン併用投与と比較する非盲検、3群、多施設共同、無作為化、第3相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
105	ファイザー株式会社	レナリドミドおよびプロテアソーム阻害薬を含む1ライン以上の前治療歴を有する再発/難治性多発性骨髄腫患者を対象としたエルラナタマブ (PF-06863135) 単剤投与およびエルラナタマブとダラツムマブ併用投与の有効性および安全性をダラツムマブ、ポマリドミドおよびデキサメタゾン併用投与と比較する非盲検、3群、多施設共同、無作為化、第3相試験	1 4 古 名 1 3 元 <i>4 4</i> 1 五 6 <del>2</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
106	インスメッド合同会社	インスメッド合同会社の依頼による肺動脈性肺高血圧症患者 を対象としたトレプロスチニルパルミチル吸入粉末剤の第2b 相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
107	アムジェン株式会社	アムジェン株式会社の依頼による小児乾癬患者を対象とした AMG407 (アプレミラスト) の第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
108	アムジェン株式会社	アムジェン株式会社の依頼による小児乾癬患者を対象とした AMG407(アプレミラスト)の第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
109	シミック株式会社(治験国 内管理人)	シミック株式会社(治験国内管理人)の依頼による日本人の スチル病(SJIA及びAODS)患者を対象としたanakinraの第Ⅲ 相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
110	ユーシービージャパン株式 会社	中等度から重度の活動性全身性エリテマトーデスを有する治験参加者を対象としてdapirolizumab pegolの有効性及び安全性を評価する、無作為化、プラセボ対照試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
111	Worldwide Clincial Trials Japan 株式会社	C3腎症または免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎の患者を対象とした、Pegcetacoplanの有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同試験	個別症例報告、その他(個別報告共 通ラインリスト)	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
112	アッヴィ合同会社	アッヴィ合同会社の依頼による第I相試験	1.41年1.1月17年1747月174日 <del>三子</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
113	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者を対象としたBI 1015550の第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
114	日本ベーリンガーインゲル ハイム株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による進行性線維化を伴う間質性肺疾患を対象としたBI 1015550の第III 相試験	個別症例報告、年次報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
115	ヤンセンファーマ株式会社	(原題) A Phase 3, Randomized, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Guselkumab in Participants with Fistulizing, Perianal Crohn's Disease (邦題) 肛門周囲瘻孔を有するクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第Ⅲ相試験、ランダム化、プラセボ対照、平行群間比較、多施設共同試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
116	ヤンセンファーマ株式会社	(原題) A Phase 3, Randomized, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Guselkumab in Participants with Fistulizing, Perianal Crohn's Disease (邦題) 肛門周囲瘻孔を有するクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第Ⅲ相試験、ランダム化、プラセボ対照、平行群間比較、多施設共同試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
117	全薬工業株式会社	既存治療で効果不十分又は既存治療の実施が困難な活動性の 関節リウマチ患者を対象としたIDEC-C2B8の有効性及び安全性 を検証する臨床第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
118	ギリアド・サイエンシズ株 式会社	ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による急性骨髄性白 血病患者を対象としたMagrolimabの第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
119	ギリアド・サイエンシズ株 式会社	ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による急性骨髄性白 血病患者を対象としたMagrolimabの第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
120	持田製薬株式会社	持田製薬株式会社の依頼による活動性関節リウマチ患者を対象としたRGB-19第Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
121	インスメッド合同会社	インスメッド合同会社の依頼による肺動脈性肺高血圧症患者 を対象としたトレプロスチニルパルミチル吸入粉末剤の第2/3 相非盲検継続投与試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
122	ヤンセンファーマ株式会社	ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるJNJ-7893484の後期第 Ⅱ 相試験	個別症例報告、年次報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
123	ヤンセンファーマ株式会社	ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるJNJ-7893484の後期第 II 相試験	1 (15) (5) (3) (4) (1) (4) (1) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
124	MSD株式会社	シスプラチン不適応又はシスプラチンを拒否した筋層浸潤性膀胱癌 (MIBC)患者を対象に周術期のペムブロリズマブ又はエンホルツマブ ベドチン (EV) とペムブロリズマブの併用療法を検討する第Ⅲ相試験	1 (15) (5) (3) (4) (1) (4) (1) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
125	MSD株式会社	シスプラチン不適応又はシスプラチンを拒否した筋層浸潤性膀胱癌 (MIBC)患者を対象に周術期のペムブロリズマブ又はエンホルツマブ ベドチン (EV) とペムブロリズマブの併用療法を検討する第Ⅲ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
126	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による活動性全身性エリテマトーデス患者を対象としたBMS-986165の第 III相試験	1 4 百 1 5 1 3 1 5 1 4 1 1 5 1 5 <del>1 2 2</del>	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
127	ブリストル・マイヤーズ ス クイブ株式会社	ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による活動性全身性エリテマトーデス患者を対象としたBMS-986165の第 III相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
128	中外製薬株式会社	中外製薬株式会社の依頼による新生血管を伴う網膜色素線条 患者を対象としたR06867461 (ファリシマブ) の第III相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
129	ダイドーファーマ株式会社	LEMS患者を対象としたDYD-301錠の継続投与試験(拡大治験)	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
130	シミック株式会社	慢性(非活動性)甲状腺眼症の日本人患者を対象にHZN-001の 有効性及び安全性を評価する第III相無作為化二重遮蔽プラセ ボ対照並行群間比較多施設共同試験	1/10 16 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
131	シミック株式会社	慢性(非活動性)甲状腺眼症の日本人患者を対象にHZN-001の 有効性及び安全性を評価する第III相無作為化二重遮蔽プラセ ボ対照並行群間比較多施設共同試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
132	大鵬薬品工業株式会社	大鵬薬品工業株式会社の依頼によるTAS-120(フチバチニブ) の第Ⅱ相試験		継続して行うことの妥当 性について審議	承認
133	株式会社セルシード	株式会社セルシードの依頼によるステロイド投与リスク群の 表在性食道癌患者を対象としたCLS2702C/Dの第Ⅲ相試験	年次報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	内容	概要	審議結果
134	ノバルティス ファーマ株式会社	ノバルティスファーマ株式会社の依頼によるCTL019の第Ⅲb相 試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
135	移植・消化器外科 講師 小林和真	4型進行胃癌に対する術後または周術期補助化学療法としての 全身・腹腔内併用化学療法と全身化学療法の無作為化比較第 Ⅲ相試験	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
136	消化器内科 教授 中尾一彦	中間期肝細胞癌を対象に、アテゾリズマブ+ベバシズマブと 肝動脈化学塞栓療法(TACE)を比較する第IIIb相、ランダム 化、多施設共同、非盲検試験-ABC-HCC試験	個別症例報告、措置報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
	がん診療センター 助教 本田琢也	膵癌患者を対象としたS-1併用化学放射線療法+ニボルマブの 第Ⅲ相試験(医師主導治験)	その他(治験副作用等報告/国内副 作用報告(第一報))	継続して行うことの妥当 性について審議	承認
138	がん診療センター 助教 本田琢也	膵癌患者を対象としたS-1併用化学放射線療法+ニボルマブの 第Ⅲ相試験(医師主導治験)	個別症例報告	継続して行うことの妥当 性について審議	承認

## 実施計画等に関する変更(報告)(2023/7/21、7/28、8/4、8/10迅速審査済)

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	概要
当日 4	エーザイ株式会社	腎細胞癌を対象としたE7080、MK-3475の第3相試験	契約に関する変更 (費用に関する変更)
当日 5	ヤンセンファーマ株式会社	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による肺動脈性肺高血圧症 を対象としたJNJ-67896062の第Ⅲ相臨床試験	実施計画書に関する変更
当日 6	日本たばこ産業株式会社	JTE-051第Ⅱ相臨床試験	実施計画書に関する変更
当日 7		Fortrea Japan株式会社の依頼による膀胱がん患者を対象としたデュルバルマブ、トレメリムマブ及びenfortumab vedotinの第Ⅲ相試験	実施計画書に関する変更
	Chordia Therapeutics株式 会社	Chordia Therapeutics社の依頼による第I相臨床試験	実施計画書に関する変更
当日 9	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	Altos Biologics Inc.から依頼の第3相試験(ALTERA)	実施計画書に関する変更
当日 10	株式会社新日本科学PPD	びまん性皮膚硬化型全身性強皮症患者を対象としたHZN-825と プラセボとの比較	分担医師に関する変更
当日 10	株式会社新日本科学PPD	びまん性皮膚硬化型全身性強皮症患者を対象としたHZN-825と プラセボとの比較	契約に関する変更(症例追加)
当日 11	サイネオス・ヘルス・クリ ニカル株式会社	(治験国内管理人)サイネオス・ヘルス・クリニカル株式会 社の依頼によるIgA腎症の治療におけるsibeprenlimabの第Ⅲ 相試験	実施計画書に関する変更
	Worldwide Clincial Trials Japan 株式会社	C3腎症または免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎の患者を対象とした、Pegcetacoplanの有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同試験	分担医師に関する変更

## 実施計画等に関する変更(報告)(2023/7/21、7/28、8/4、8/10迅速審査済)

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	概要
		トランスサイレチン型心アミロイドーシス (ATTR CM) 患者を対象とした2用量のNNC6019-0001の有効性及び安全性の検討	実施計画書に関する変更
当日 14	ヤンセンファーマ株式会社	ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるJNJ-7893484の後期第 II 相試験	実施計画書に関する変更
	川.彼り科   助.数 加藤.士瞎	成人T細胞白血病・リンパ腫を対象としたウイルス抗原を標的 とする樹状細胞ワクチン療法 多施設共同非盲検無作為化比 較試験 (第 II 相試験)	分担医師に関する変更

#### 報告事項:治験終了報告

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	概要
139	アッヴィ合同会社	中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象とした risankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作 為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験	治験終了報告
140	アムジェン株式会社	アムジェン株式会社の依頼によるRozibafusp Alfa(AMG 570) の第Ⅱb相試験	治験終了報告
141	協和キリン株式会社	早発型重症妊娠高血圧腎症患者を対象としたKW-3357の第Ⅲ相 ランダム化プラセボ対照二重盲検比較試験	治験終了報告
142	ノバルティス ファーマ株式 会社	ノバルティスファーマ株式会社の依頼による成人発症スチル 病を対象としたACZ885の第Ⅲ相試験	治験終了報告
143		特発性肺線維症患者におけるPRM-151の有効性及び安全性を評価するための第Ⅲ相無作為化二重盲検プラセボ対照比較試験	治験終了報告
144	Fortrea Japan株式会社	特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象としたPRM-151の長期投与 時の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相非盲検延長試験	治験終了報告

#### 報告事項:治験終了報告

	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	概要
145	ダイドーファーマ株式会社	LEMS患者を対象としたDYD-301錠の長期投与試験	治験終了報告

#### 報告事項:医薬品開発中止等の報告

資料 No.	治験依頼者名又は自ら治験 を実施する者の氏名	課題名	概要
146	バイエル薬品株式会社	転移性ホルモン感受性前立腺癌患者を対象とした darolutamide(ODM-201) のプラセボ対照第Ⅲ相試験	2023/2/24付で製造販売承認の取得
147	JCRファーマ株式会社	SHOX異常症における低身長に対するJR-401の第Ⅲ相試験	2023/6/26付で製造販売承認の取得
148	JCRファーマ株式会社	SHOX異常症における低身長に対するJR-401の継続投与試験	2023/6/26付で製造販売承認の取得
149		特発性肺線維症患者におけるPRM-151の有効性及び安全性を評価するための第Ⅲ相無作為化二重盲検プラセボ対照比較試験	2022/11/30付で治験の中止報告
150	Fortrea Japan株式会社	特発性肺線維症(IPF)患者を対象としたPRM-151の長期投与 時の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相非盲検延長試験	2022/11/30付で治験の中止報告

#### 報告事項:その他

・必須文書保存期間に関する報告: 1件

その他の変更: 6件

・治験協力者に関する変更: 3件・モニタリング・監査報告: 29件・モニターに関する変更: 11件

#### 臨床研究センターからのお知らせ:

•治験等実施状況報告(2023/7/31 現在)